

西若松駅周辺地域

西の玄関口・西若松駅を中心として、くらし・商業・工業が調和して発展するまち

地域づくりの背景

- 鶴ヶ城の最寄り駅である西若松駅がリニューアルされ、本市の西の玄関口としての機能向上が求められています。
- 地域西部から南部にかけては、従来から工場が集積していましたが、国道118号若松西バイパスなどの整備等により、宅地化が進むとともに、商業施設の立地が増えています。
- 畑作を中心として、農業が盛んですが、施設園芸作物などによりさらなる農業振興が求められています。
- 地域を流れる阿賀川及び湯川は、身近な憩いの場として親しまれていますが、湯川の下流部の水質は、下水道の普及等により改善のきざしがみえるものの、なお一層の水質改善への取り組みが求められています。

地域づくりの目標

- ★ 西若松駅を中心に西の玄関口にふさわしいまちをつくる
- ★ 商業と工業が調和した活力のあるまちをつくる
- ★ 施設園芸作物の振興による農業が盛んなまちをつくる
- ★ 安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

地域づくりの方針

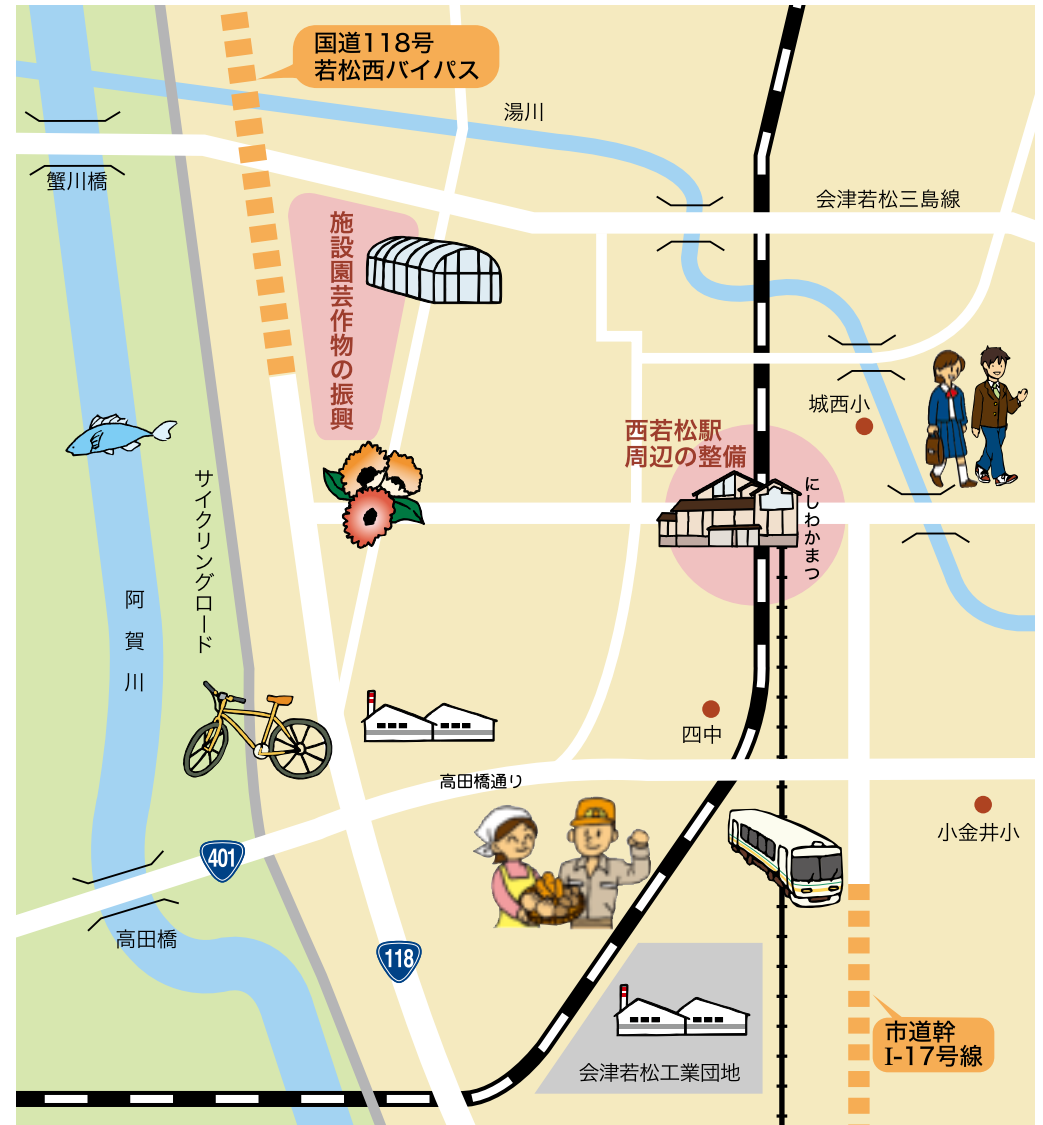
- 首都圏とつながる会津鉄道会津線の起点駅であり、また、鶴ヶ城の最寄り駅でもある西若松駅をいかして、交流人口の増加を図ります。
- 鉄道事業者やバス事業者と連携して、西若松駅を中心とした公共交通機関の充実を図ります。
- 商工業のバランスの良い発展と、地域の良好な都市環境の形成のため、道路や下水道などの都市基盤の整備を推進します。
- 有機栽培など高付加価値型の農業を推進するとともに、施設園芸作物の産地化、ブランド化を図ります。
- 地域住民と協力して、美しい水辺環境の保全を推進します。



国道118号 若松西バイパス



西若松駅



主な取り組み

- 西若松駅周辺の整備促進
- 公共交通機関の利便性向上の促進
- 市道幹 I - 17号線の整備推進
- 個別生活排水処理施設の整備
- 湯川の水辺環境美化活動の推進
- 会津鉄道の安全対策・高速化の取り組みへの支援
- 国道118号若松西バイパスの整備促進
- 公共下水道の整備
- 施設園芸作物の高品質安定生産
- 認定農業者等の担い手の育成